

ランチョンセミナー

2026年8月31日(月) 12:40 ~ 13:40 | 札幌コンベンションセンター特別会議場(1F)

ランチョンセミナー②／アーカイブティプス株式会社／北海道日本ハムファイターズにおける動作解析システムを用いた選手育成の取り組み（第2報）

共催社名:アーカイブティプス株式会社

座長:村井 楓子(アーカイブティプス株式会社)

12:40 ~ 13:40

[qNTMOs4V-1add] 北海道日本ハムファイターズにおける動作解析システムを用いた選手育成の取り組み（第2報）

*山口 雄大¹ (1. 株式会社北海道日本ハムファイターズ ベースボールオペレーション部)

近年、メジャーリーグベースボール（MLB）および日本プロ野球（NPB）において、動作解析システムを用いた選手サポートの需要が高まっている。しかし、そのアプローチは各団体の戦略によって多岐にわたり、身体運動を幾何学的に記述するキネマティクス（運動学）、運動を生じさせる力に着目するキネティクス（運動力学）、あるいはエネルギー消費や伝達効率を評価するエナジェティクス（エネルギー学）など、多様な観点からの取り組みが展開されている。北海道日本ハムファイターズでは、2024年シーズンより動作解析システムを本格導入し、科学的根拠に基づく選手育成システムを構築してきた。昨年度のランチョンセミナーでは、システム導入の背景とその初期運用事例について報告した。本年度は、2シーズンを通して蓄積された縦断的なデータに基づき、具体的運用から見てきた選手の動作変容や現場へのフィードバック手法の進化について事例的に報告する。各団体で多様な解析手法が展開される中、得られたデータをいかに実戦現場へ還元させるかは共通の課題である。本発表を通して、現場へのフィードバックのあり方やサポート体制の構築について議論していきたい。